

IoT推進のための横断的な技術開発事業

平成29年度予算案額 **47.0億円** (33.0億円)

事業の内容

事業目的・概要

- デバイス・情報処理・ネットワーク技術の高度化により、あらゆるところにセンサを設置し、実社会の様々なデータを収集・活用することで、さまざまな分野で生産性や効率性を向上させることが可能となります。
- 他方で、ネットワークにつながる機器の数が大幅に増加することになり、エネルギー消費が膨大となることが見込まれるため、これらの省エネルギー化とシステム全体の効率化が必要です。
- 本事業では、世界に先駆けて大量のデータの効率的かつ高度な利活用を実現するため、データの収集、蓄積、解析、セキュリティの4つの技術領域において、2030年のIoT社会の共通基盤技術となりうる先進的かつ分野横断的な技術の開発を産学官の連携体制で実施し、各技術領域においてエネルギー消費効率を事業開始時と比べて、10倍改善すること等を目指します。

成果目標

- 平成28年度から平成32年度の5年間の事業であり、次世代のIoT推進を支える分野横断的な共通基盤技術（デバイス・情報処理・セキュリティ等）を創出します。（平成42年度において約1,300万t/年のCO2削減を目指します。）

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

